

【ACKグループ中期計画見直し 重点化事業投資を増額】

重点化事業
投資を増額

ACKグループ
中期計画見直し

ACKグループは19日、13年9月期から3カ年の中期経営計画（ACK2013）を改定したと発表した。2020年を見据えて設定した売上高500億円以上、営業利益20億円などの目標を確実に達成するため、防災やインフラ保全・管理など重点化事業に対し3年間で15億円以上の投資を実施。同事業の売上高を中期計画スタート時の1.5倍にする。

グループ内の連携強化にも注力。「人材の確保と育成」「基盤整備」をポイントに取り組みを加速する。人材の確保・育成では社員総数を500人以上（うち女性100人以上）増員するとともに、技術士や博士号などの取得者を大幅に底上げする。技術士300人以上、博士40人以上を目標

とする。

国内公共、国内民間、海外の3軸経営を強化し、各市場で競争力を高めるため、市場ごとにグループ内の組織を集約。国内公共はオリエンタルコンサルタンツ、国内民間はアサノ大成基礎エンジニアリング、海外はオリエンタルコンサルタンツグループ（10月1日設立）が先導役となり、事業拡大に取り組む。